

人事

農業委員会委員の推薦

大豊町柚木

1042番地

前田 忠親

行政報告

○JR豊永駅の業務体制見直し (町長)

現在、JR豊永駅で土日、祝祭日を除く日の午前6時40分から午前10時30分まで行っている駅業務を8月31日をもって廃止するとの通知がJR四国からあった。豊永駅の他にもJR四国管内の29駅についてこうした駅業務を廃止するものである。

○三菱UFJ信託銀行と森林管理について協定締結 (町長)

大豊町、三菱UFJ信託銀行、高知県は「想いをつなぐ森」として、財政支援を受けながら町有

林の整備を進めてきたが、6月8日に引き続き3年間の協定を締結した。この協定は、総額3百万円の資金援助を基に中村大王、西峰の町有林35.01haを整備するものであり、この3年間の間に三菱UFJ銀行の社員の皆さんとの交流を通じて、山間の実情を知っていただく取組を進めていく。



三菱UFJ信託銀行との協働の森事業 (中村大王地内)

○ミスノインダストリー四国が撤退 (町長)

ミスノインダストリー四国の中阪社長が来庁し、9月末でミスノインダストリー四国(小川)を兵庫県の工場と統合するとの報告があった。ミスノインダストリー四国としては大砂子に工場の一部機能を2年間の予定で残し、小川の工場跡利用については関連企業と



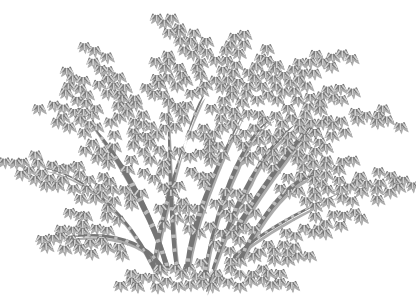
高知県総合防災訓練の様子 (東土居ヘリポート)

協議中とのことである。このことについては県にも社員の再雇用等についてお願いしており、県も支援できることは積極的に対応していくというところである。ミスノインダストリー四国については長く大豊町で雇用を生み、地域に貢献をしていただいておりますが、非常に残念であるが、町としては

○高知県総合防災訓練開催 (町長)

6月6日、南国市物部川右岸において、風水害や南海地震の発生を想定した高知県総合防災訓練が行われ、大杉分団が参加し水防工法を実施した。また、孤立集落から

の救援ということ、東土居のヘリポートから地区住民5人を救出する訓練も行われた。南海・東南海地震が発生する確率が高い中、こうした訓練は非常に重要であり有意義な訓練であった。



委員会の動き

○教育民生常任委員会

教育民生常任委員会調査報告

教育民生常任委員長 上池 如夫

教育民生常任委員会は、5月24日に嶺北シルバー人材センターの活動状況に関する調査を行った。



嶺北シルバー人材センターに関する調査

昭和46年に制定された高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、土木工事の激減に伴う雇用対策、農地保全対策などの課題を解決するため、嶺北シルバー人材センターは原則60歳以上の元気で働く意欲のある高齢者が会員となり、自分の持つ経験や技術を生かし、生きがいと社会参加、地域への貢献を目的として、大豊町、本山町、土佐町の3町により平成20年度に設立された。現在、大豊町62人、本山町87人、土佐町110人、合計259人の高齢者が会員となっている。公共や民間企業、一般家庭から依頼のあった業務を嶺北シルバー人材センターが請け負い会員に提供するというシステムで、作業の依頼者は報酬と事務費(報酬の

7%)を支払っている。この事務費は嶺北シルバー人材センターの運営費に充てられており、事務局長1人、各町村支部3人の職員が運営事務を行っている。嶺北シルバー人材センターの平成21年度の経営状況は、1,145件、約79,624千円の事業収入があり、収支は3,368千円の黒字となっている。これは借入金を極力しないように運転資金等に充当するため、人件費を抑制しているためである。大豊町の実績を見ると、特に一般家庭からの作業依頼が他の町に比べて多い。これは本町の高齢化が進み、草刈り等に従事できない世帯が多いためであると推測されるが、このことから嶺北シルバー人材センターは極めて重要な法人であると言える。

大豊町では一般家庭からの作業依頼が多く、設立2年目にして既に嶺北シルバー人材センターの存在が広く町民に浸透している。また、農地や住宅周辺の草刈り及び地域内の公共施設の管理が十分になされ、地域の環境整備に大変役立っている。嶺北シルバー人材センターの業務は、地域の元気な高齢者の生きがい、社会参加活動を促すだけでなく、嶺北地域の集落の存続にも大きな役割を果たしており、その活動は今後ますます重要になってくるものと思われるが、働く意欲のある元気な高齢者の確保に苦勞しており、今後は人材の確保や職員の福利厚生が重要な課題となってくる。

こうしたことから、嶺北シルバー人材センター設立時の目的を達成するため、行政としても嶺北シルバー人材センター、会員である高齢者、その他の関係者の自主的な努力を尊重しつつ、その実情に応じ、更なる財政的な援助を行うとともに、人材の確保等についても適切な支援をしていく必要がある。

閉会中の継続審査・調査

- 総務産業建設常任委員会
 - 議会基本条例に関する調査の件
- 教育民生常任委員会
 - 休校校舎の活用対策に関する調査の件
- 議会運営委員会
 - 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項
 - 議長の諮問に関する事項
- 広報編集特別委員会
 - 広報編集に関する事項

編集後記

7月11日の参議院選挙では、民主党の議席が過半数に及ばない事態となりましたが、高知県では民主党が議席を獲得しました。今後も引き続き、国民不在の政治が行われないよう国政運営を見守る必要があると思います。

今年も春先に寒い日が続き、入梅も例年より遅く、日照不足となって農家の皆さんは農作物の管理に大変苦勞をされています。これも地球温暖化が原因でしょうか。

日頃は「秀峰」をご覧いただきありがとうございます。広報編集特別委員会として読みやすく、皆さんに親しまれる議会広報紙づくりに努めたいと思います。

広報編集特別委員会

- 委員長 藤丸 高德
- 副委員長 前田 邦明
- 委員 佐藤 徳治
- 委員 上池 如夫
- 委員 下村 芳章

わかりやすい紙面にと心がけております。読後のご感想・ご意見をお寄せください。

【ご意見やご感想は】

大豊町議会事務局 電話72-0450まで

藤丸 高德